

第22期 第23回福岡県有明海区漁業調整委員会議事録

1. 日 時 令和6年10月21日(月) 14:00～14:17

2. 場 所 福岡県有明海水産会館(柳川市三橋町高畑271)

3. 出席者

福岡県有明海区漁業調整委員会 委員8名

4. 臨席者

福岡県農林水産部水産局漁業管理課 2名

福岡県有明海区漁業調整委員会事務局 3名

福岡県水産海洋技術センター有明海研究所 1名

福岡有明海漁業協同組合連合会 1名

5. 議題及び議決内容

(1) 福岡県有明海区における知事許可漁業の新規許可に係る制限措置及び申請期間について(諮問) 資料1

(説明)

漁業管理課から資料1に基づき、説明がなされた。

(主な質疑や意見)

委員：漁業を営む者の資格として、県外からの入漁分では、佐賀県有明海区の海面に沿う市町又はそれに隣接する市町に住所を有する者となっているが、今までもこのようになっていたか。

漁業管理課：変わっていない。

(審議結果)

原案のとおり定めることが適当であると答申することを決定した。

(2) 第382回福岡佐賀有明海連合海区漁業調整委員会について(報告) 資料2

(説明)

事務局から資料2に基づき、説明がなされた。

(主な質疑や意見)

委員：今年のビゼンクラゲの漁模様はどうだったか。

有明海漁連：7月1日に解禁したが、ほとんど漁には出ていない。漁に出なかった理由は獲れなかったからか、それとも値段が安かったからか。

委員：今年はクラゲがいなかった。

(3) その他

(主な質疑や意見)

委員：今年のアサリの状況は。

有明海研究所：4月以降、漁獲されている。良いときは1人、1日100キロほど漁獲。最近は半分以下に減少したが、漁獲は継続。

委員：資源状況は。雨の影響は。

有明海研究所：河口付近で多少斃死が見られたが、まだ多い状況。稚貝も多くいるので、それをきちんと守っていけば今後も期待できる。また、シオフキも多くいるので、ノリの時期にプランクトンを多く食べてもらうことを期待。